

平成18年度 高冷地水稻生育速報(第9報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(8月1日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	84.6 (111%)	542 (121%)	5.2 (+2.4)	39.9 (+12.6)	11.2 (-1.3)
	前年	76.5	448	2.8	27.3	12.5
コシヒカリ	本年	85.4 (99%)	491 (112%)	4.9 (+1.5)	36.5 (+5.0)	11.4 (-0.9)
	前年	86.7	440	3.4	31.5	12.3
たかやまもち	本年	—	—	—	—	—
	前年	—	—	—	—	—
ひだほまれ	本年	95.1 (104%)	333 (97%)	4.9 (+1.4)	40.8 (+7.0)	12.0 (-1.1)
	前年	91.6	344	3.5	33.8	13.1

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対前年値

2. 出穂の状況(8月1日)

品種名	本年	前年 (出穂期)	平年 (出穂期)	備考
ひとめぼれ	8月1日出穂始め	8月3日	8月4日	
コシヒカリ	穂ばらみ期	8月8日	8月7日	
たかやまもち	7月31日出穂期	7月27日	7月29日	平年より2日遅い。
ひだほまれ	7月31日出穂始め	8月2日	8月2日	平年より1~2日遅い(予想)。

栽培条件: 1. 生育概況に同じ
 平年: 過去7年間から最大値の年と最小値の年を除いた5年の平均値

3. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

「たかやまもち」は出穂期を迎えたため、調査を中止した。「たかやまもち」の出穂は、平年より2日遅い。7月中下旬に気温が上がらなかったため、全体に出穂が遅れているようである。
 葉色は、穂肥の施用後、濃い状態が続いているが、「ひだほまれ」では葉色板でやや淡くなっている。

2) 病虫害等の発生状況

「イネツトムシ」、「セジロウンカ(夏ウンカ)」が見られる。斑点米の原因となるカメムシ類が増えつつある。
 「ひとめぼれ」、「コシヒカリ」等の「イモチ病」に弱い品種を中心に葉いもちが発生している。病斑は、上位葉にも見られるが、「初期型」が多く、大きなものは“慢性型”でとなっている。

3) 今後の管理

出穂前後は、田面が乾かないように水管理を行う。早期の落水は品質低下の原因となりやすいので避けること。

「イモチ病」は、気温の上昇とともに停滞していると思われるが、出穂期を迎えているので「穂いもち」への移行に注意する。

斑点米の原因となるカメムシ類の防除を徹底する。また、畦畔の除草は、斑点米の原因となるカメムシ類の本田への侵入を助長するので、黄熟期まで行わないようにする。

<参考> 前回調査時(7月25日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	74.2 (97%)	566 (114%)	5.1 (+0.9)	38.7 (+4.5)	10.8 (-0.7)
	前年	70.7	460	3.2	29.5	11.9
	平年	76.8	497	4.2	34.2	11.5
コシヒカリ	本年	79.1 (95%)	513 (104%)	4.9 (+0.9)	37.0 (+2.8)	11.2 (-0.6)
	前年	81.6	451	3.3	30.9	11.7
	平年	83.2	495	4.0	34.2	11.8
たかやまもち	本年	82.3 (103%)	508 (116%)	5.6 (+0.7)	45.1 (+7.1)	10.7 (-1.3)
	前年	72.5	391	4.3	36.0	12.4
	平年	79.6	438	4.9	38.0	12.0
ひだほまれ	本年	81.7 (97%)	340 (97%)	5.4 (+0.9)	40.4 (+4.1)	11.6 (-0.7)
	前年	84.4	371	3.9	34.4	13.1
	平年	84.3	350	4.5	36.3	12.3

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>